

株式会社 テー・オー・ダブリュー

平成24年6月期
第2四半期 決算説明会

東証1部 4767

本プレゼンテーションには

平成24年2月6日現在の経営陣の将来に関する

前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。

社会・経済・競合状況の変動等に関わる

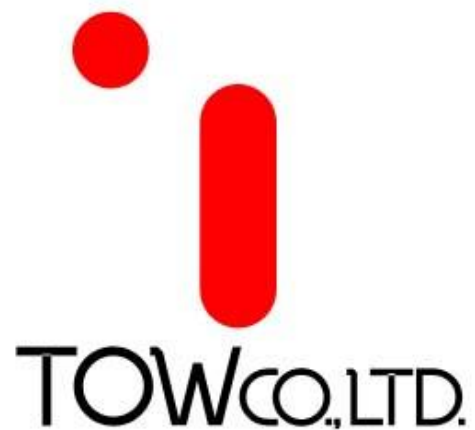
リスクや不確定要因により、実際の業績が

記載の予測と異なる可能性があります。

平成24年6月期 第2四半期決算の概要

平成24年6月期 第2四半期決算の傾向

今後の対策



**代表取締役会長兼社長
川村 治**

平成24年6月期 第2四半期決算の概要

当第2四半期の業績について

当第2四半期の国内の広告市場は、震災後の大きな落ち込みから前年並みの水準に戻りつつあり、自粛措置等が取られていたクライアント各社の販促活動にも持ち直しの傾向が見られました。

このような事業環境の中、当社といたしましては、震災後に活性化した情報通信・飲料各社のフィールドプロモーションの取り込み、医薬品業界やゲーム各社などの新規クライアントの取り込み等、積極的な営業活動に注力しました。

その結果、当第2四半期の業績は、連結・個別共に平成23年8月5日発表の業績予想を上回り、平成23年12月15日に業績予想の上方修正を行いました。

さらに、既存案件の売上高が予想を上回ったことに加え、販管費の予算未消化があったため、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに公表値を上回る結果となりました。

平成24年6月期 第2四半期決算の概要(連結)

	前第2四半期累計期間 (22年12月)		当初計画(23年8月5日発表)		当第2四半期累計期間 (23年12月)			通期の見通し (24年6月)		前期 (23年6月)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	計画比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	5,799	100.0%	5,895	100.0%	6,830	100.0%	115.9%	11,470	100.0%	10,570	100.0%
売上総利益	751	13.0%	766	13.0%	977	14.3%	127.6%	1,496	13.0%	1,128	10.7%
販管費	396	6.8%	410	7.0%	384	5.6%	93.8%	822	7.2%	750	7.1%
営業利益	355	6.1%	355	6.0%	592	8.7%	166.6%	674	5.9%	378	3.6%
営業外損益	▲3	▲0.1%	3	0.1%	7	0.1%	228.6%	11	0.1%	▲0	▲0.0%
経常利益	352	6.1%	359	6.1%	600	8.8%	167.2%	686	6.0%	377	3.6%
特別損益	▲16	▲0.3%	17	0.3%	17	0.3%	101.0%	17	0.1%	▲18	▲0.2%
税金等調整前四半期 (当期)純利益	335	5.8%	376	6.4%	617	9.0%	164.2%	703	6.1%	359	3.4%
法人税、住民税及び事業税	126	2.2%	159	2.7%	270	4.0%	169.9%	361	3.1%	193	1.8%
法人税等調整額	62	1.1%	17	0.3%	23	0.4%	134.9%	▲31	-0.3%	36	0.4%
少数株主利益	1	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	▲1	▲0.0%
四半期(当期)純利益	146	2.5%	198	3.4%	322	4.7%	162.3%	372	3.2%	131	1.2%

(単位:百万円)

※平成23年12月15日に業績予想の上方修正を発表しております。

※通期の見通しにつきましては、平成23年8月5日発表の当初計画を変更していません。

平成24年6月期 第2四半期決算の概要(個別)

	前第2四半期累計期間 (22年12月)		当初計画(23年8月5日発表)		当第2四半期累計期間 (23年12月)			通期の見通し (24年6月)		前期 (23年6月)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	計画比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	5,521	100.0%	5,721	100.0%	6,619	100.0%	115.7%	11,180	100.0%	10,065	100.0%
売上総利益	674	12.2%	681	11.9%	825	12.5%	121.2%	1,351	12.1%	1,014	10.1%
販管費	372	6.8%	396	6.9%	375	5.7%	94.8%	796	7.1%	709	7.1%
営業利益	301	5.5%	285	5.0%	450	6.8%	157.9%	555	5.0%	304	3.0%
営業外損益	48	0.9%	50	0.9%	51	0.8%	102.4%	52	0.5%	51	0.5%
経常利益	349	6.3%	335	5.9%	502	7.6%	149.7%	607	5.4%	356	3.5%
特別損益	▲16	▲0.3%	-	-	-	-	-	-	-	▲24	▲0.2%
税金等調整前四半期 (当期)純利益	333	6.0%	335	5.9%	502	7.6%	149.7%	607	5.4%	331	3.3%
法人税、住民税及び事業税	111	2.0%	132	2.3%	209	3.2%	158.3%	304	2.7%	157	1.6%
法人税等調整額	53	1.0%	8	0.2%	16	0.3%	195.7%	▲34	▲0.3%	30	0.3%
四半期(当期)純利益	168	3.1%	194	3.4%	276	4.2%	141.8%	337	3.0%	144	1.4%

(単位:百万円)

※平成23年12月15日に業績予想の上方修正を発表しております。

※通期の見通しにつきましては、平成23年8月5日発表の当初計画を変更していません。

財政状態・経営成績(連結)

	前期 (23年6月末)	当第2四半期末 (23年12月)	前期比		前第2四半期累計期間 (22年12月)	当第2四半期累計期間 (23年12月)	前期比
総資産	7,391	8,911 ※1	20.6%増	売上高	5,799	6,830	17.8%増
純資産	5,015	5,214	4.0%増	営業利益	355	592	66.8%増
自己資本 比率	67.8%	58.5%	—	経常利益	352	600	70.5%増
1株当たり 純資産 ※2	439円98銭	457円40銭	17円42銭増	四半期純利益	146	322	120.4%増
期末発行済 株式数	11,397,175株	11,397,145株	—	1株当たり 四半期純利益 ※2	12円76銭	28円32銭	15円56銭増

(単位:百万円)

※1 主に受取手形及び売掛金が923百万円、未収入金(ファクタリング債権)が1,051百万円増加したことにより、前年比20.6%の増加となっております。

※2 1株当たり純資産については期末発行済株式数を、1株当たり四半期純利益については期中平均株式数を用いております。

キャッシュ・フロー計算書(連結)

	前第2四半期累計期間 (22年12月)	当第2四半期累計期間 (23年12月)	前期 (23年6月末)
I.営業活動によるキャッシュ・フロー	▲266	※1 ▲301	270
II.投資活動によるキャッシュ・フロー	▲17	※2 ▲56	※2 ▲200
III.財務活動によるキャッシュ・フロー	▲192	※3 ▲56	▲385
IV.現金及び現金同等物の増加額	▲476	▲415	▲315
V.現金及び現金同等物期首残高	2,210	1,894	2,210
VI.現金及び現金同等物の期末残高	1,734	1,479	1,894

(単位:百万円)

- ※1 税金等調整前四半期純利益が617百万円、未収入金(ファクタリング債権)の増加額が(△)1,055百万円含まれております。
- ※2 当第2四半期は、(株)ペッププランニング株式の売却による支出が41百万円含まれており、前期には、銀行系社債の取得による支出200百万が含まれております。
- ※3 配当金の支払額が56百万円含まれております。

平成24年6月期 第2四半期決算の傾向

各価格帯ともに、前年同期間比で増加傾向

	前々第2四半期累計期間 (21年12月)	前々第3・4四半期累計期間 (22年1月～6月)	前第2四半期累計期間 (22年12月)	前第3・4四半期累計期間 (23年1月～6月)	当第2四半期累計期間 (23年12月)	前期 (23年6月)
～1,000万円	490	530	543	512	547	1,055
1,000万円～2,000万円	76	82	84	58	88	142
2,000万円～5,000万円	51	34	49	37	58	86
5,000万円～1億円	19	11	9	7	15	16
1億円～	9	6	5	6	7	11
合計	645	663	690	620	715	1,310

(単位:件数)

代理店の競合が減少傾向にある中、継続的な営業活動の成果として、指定案件が増加。

	前第2四半期累計期間 (22年12月)		当第2四半期累計期間 (23年12月)		前期 (23年6月)	
	件数	売上高	件数	売上高	件数	売上高
競合	142件	1,789	85件	1,342	233件	2,663
提案	185件	1,235	119件	939	242件	1,700
指定	363件	2,449	511件	4,295	835件	5,607
合計	690件	5,474	715件	6,577	1,310件	9,970

※企画売上高は除く

(単位:百万円)

企画勝率は回復傾向

	前第2四半期累計期間 (22年12月)	前第3・4四半期累計期間 (23年1月～6月)	当第2四半期累計期間 (23年12月)
全体企画(竹・梅) 本数	1,485	1,111	1,063
制作移行案件 獲得数	396	286	337
勝率	26.7%	25.7%	31.7%

(単位:件数)

「化粧品・トイレタリー・医療」および「精密機器その他製造」 の新規クライアントの取り込みが寄与

	前第2四半期累計期間 (22年12月)	構成比	当第2四半期累計期間 (23年12月)	構成比	前期 (23年6月)	構成比
情報・通信	1,716	31.3%	1,843	28.0%	3,150	31.6%
食品・飲料・嗜好品	650	11.9%	863	13.1%	958	9.6%
化粧品・トイレタリー・医療	664	12.1%	980	14.9%	1,298	13.0%
自動車	391	7.1%	544	8.3%	909	9.1%
精密機器その他製造	540	9.9%	720	10.9%	864	8.7%
官公庁・団体	293	5.4%	254	3.9%	545	5.5%
金融	174	3.2%	276	4.2%	293	2.9%
流通・小売	374	6.8%	504	7.7%	679	6.8%
その他	668	12.2%	589	9.0%	1,270	12.7%
合計	5,474	100.0%	6,577	100.0%	9,970	100.0%

※企画売上高は除く

(単位:百万円)

震災後に活性化した情報・通信、飲料各社の フィールドプロモーションの取り込みが寄与

	前第2四半期累計期間 (22年12月)	当第2四半期累計期間 (23年12月)
イベント	博展	0
	文化・スポーツ	1
	広報	1,375
SP	販促	3,774
	制作物	323
	合計	5,474
		6,577

※企画売上高は除く

(単位:百万円)

平成24年6月期予想(連結)

	平成23年6月期	平成24年6月期	
			前期比
売上高	10,570	11,470	8.5%増
売上総利益	1,128	1,496	32.6%増
営業利益	378	674	78.3%増
経常利益	377	686	82.0%増
特別損益	※1 ▲18	※2 17	-
当期純利益	131	372	184.0%増

(単位:百万円)

※1 特別損益▲18百万は、投資有価証券評価損▲11百万、資産除去債務▲7百万であります。

※2 特別損益17百万は、株式会社ペッププランニングの株式売却益であります。

下期受注残(A・B・松)は減少 引き続き積極的な営業活動に注力

	平成23年6月期 (平成23年2月4日現在)	平成24年6月期 (平成24年2月6日現在)
上期売上実績	5,521	6,619
下期受注残高 (A・B・松の合計)	※1 4,212	4,098
下期竹・梅の合計	3,610	3,996
通期売上高	※1・2 10,065	※2 11,180

(単位:百万円)

※1 平成23年6月期につきましては、東日本大震災後、約18億円の下期受注残高および期中受注が減少しております。

※2 通期売上高については、平成23年6月期は実績、平成24年6月期は計画値であります。

- A : イベントの規模(金額)、実施時期等が決定している案件
- B : 金額、実施時期等に不確定要素のある案件
- 松 : 当社がほぼ受注する見込みにある案件(80%以上の確度)
- 竹 : 企画競合案件のうち、当社が受注する確度の高い案件(50%以上の確度)
- 梅 : 企画競合案件

今後の対策

ワンストップ体制と提案力強化

5

プロモーション
メディア強化

提案領域拡大

○広友リース株式会社

プロモーション
メディア

PR

口コミ

ツール制作

○(株)ランザクション

○日本ラボテック(株)

4

ノベルティ強化

品質管理強化

1

デジタル強化

対応力強化

○(株)カヤック

○(株)インフォバーン

○(株)クルーソー

○(株)フォーク

○(株)ニューロマジック

○(株)ラルス

○(株)オロ

デジタル

プロモーション企画

事務局

イベント

施設

店頭

3

店頭強化

販促強化

○ジェコムホールディングス(株)

○(株)ヒト・コミュニケーションズ

空間プロデュース

企画提案強化

○社内体制強化
(専任者の配置)

2

1. デジタル強化

それぞれの強みの異なる4社との業務連携に加え、今期、
下記3社と業務連携を実施。

(株)カヤック

アイデア・最新技術力に強み

(株)クルーソー

Webプロデュースとクリエイティブ開発に強み

(株)インフォバーン

メディアを絡めた循環に強み

(株)フォーク

Web制作体制・事務局運用に強み

(株)ニューロマジック

『プロモーション』

『Web企画力』に強み

- 設立 : 平成6年9月
- 売上高 : 3億円
- 代表者 : 黒井 基晴
- 従業員数 : 38名
- 事業内容 : Webサイトの企画、制作、
運営及び保守 / コミュニケーション戦略立案 / PR全般業務

(株)ラルス

『スマートフォン』・『モバイル』
に強み

- 設立 : 平成18年5月
- 売上高 : 0.5億円
- 代表者 : 関根 崇成
- 従業員数 : 8名
- 事業内容 : 企画、コンサルティング /
制作、デザイン / 開発、運用

(株)オロ

『システム開発力』に強み

- 設立 : 平成11年1月
- 売上高 : 14億円
- 代表者 : 川田 篤
- 従業員数 : 159名
- 事業内容 : ビジネスソリューション事業 /
コミュニケーションデザイン事業

2. 空間プロデュースの企画提案強化

プロモーション企画における空間プロデュースの企画提案強化として
空間演出・施工管理専任の社員(1級建築士)を配置。

豊富な経験と知識を活用し、空間プロデュースの企画提案を行う。

3. 店頭強化

ジェイコムホールディングス(株)(平成19年2月 東証一部上場 証券コード:2462)との資本・業務提携に加え、店頭プロモーション提案強化として、成果追求型の営業支援業務を行う(株)ヒト・コミュニケーションズ(平成23年8月 ジャスダック上場 証券コード:3654)との業務連携を模索中。

(株)ヒト・コミュニケーションズ

- 設立 :平成10年2月
- 売上高 :173億円
(平成23年8月期)
- 代表者 :安井 豊明
- 従業員数:199名
(平成23年8月末現在)
- 事業内容:
営業・販売・サービスを中核とする営業支援企業 / 研修開発、育成、企画、マーケティング、成果追求までを一手に手掛けるアウトソーシング事業

4. ノベルティ強化

ノベルティグッズの企画、開発、販売をワンストップで行う(株)ランザクション（平成22年10月 ジャスダック上場 証券コード:7818）に加え、更なる品質向上のため、民間の品質管理・総合検査サービス会社である日本ラボテック(株)との業務連携を実施。

日本ラボテック(株)

- 設立 :平成21年7月
- 売上高 :2億円
(平成23年12月期)
- 代表者 :羽賀 威一郎
- 従業員数:20名
(平成23年12月末現在)
- 事業内容:
衣類品検査 / 生活用品検査 / 食品検査
雑貨、履物ペット用品検査 / 店舗衛生検査
コンサルティング / 腸内細菌検査 /
商品開発支援

5. プロモーションメディア強化

プロモーションメディア強化として、総合什器備品レンタル業の広友リース(株)との業務連携を実施。

- ① 同社が強みを持つ建設現場やマンション販売センターのプロモーションメディア化及びルートサンプリングの拠点化を実現。
- ② 同社製品である「折り紙ハウス」を屋外メディアとしてプロモーションに活用。



平成22年のグッドデザイン賞を受賞し、東日本大震災では仮設住宅としても活躍した「折り紙ハウス」。

広友リース(株)

- 設立 : 昭和45年10月
- 売上高 : 96億円
(平成23年3月期)
- 代表者 : 梅木 孝夫
- 従業員数: 303名
(平成23年4月1日現在)
- 事業内容:
オフィス向けレンタル事業 / 代理店向けレンタル事業 / 各種イベント向けレンタル事業 / 建設現場事務所向けレンタル事業 / マンション販売センター向けレンタル事業 / ファシリティ・マネジメント事業

